

～かるたであそぼう～ 初心者源平戦 参加者募集

ひらがなが読めるかたなら、どなたでも参加できます。読手は下の句まで読むので、小倉百人一首の歌をおぼえていなくてもだいじょうぶです。日本語初級の方もお気軽にご参加ください。

日時 2019年3月3日(日) 10:00～13:00

9:30～10:00 受付(先着50名には“和風小物”の参加賞を差し上げます)

10:00～12:00 源平戦の部(参加無料)

12:10～12:40 お坊さんめぐり大会(参加無料)

12:40～13:00 源平戦表彰式

午後は競技かるた部門となります。見学自由。

※競技かるたの部(D級、E級、F級)出場については別途お問い合わせください。



場所 Bethesda Elementary School Cafeteria (1st floor) 7600 Arlington Rd, Bethesda, MD 20814

源平戦の部(G級)：1チーム 2人(または3人)のチーム対抗戦 (テーブルで競技します。正座不要。)

日本人部門：ワシントン日本語学校(WJLS)の児童生徒(小3以上)や日本人のご家庭はこちらでご参加下さい。

日本語学習者部門：日本人ご家庭でもお子さんが小2以下の場合はこちらへご参加いただけます。小2以下のお子さんと日本語が母語ではない保護者とのペアも、こちらの部門でお申込みください。(保護者が日本語ネイティブの場合は、日本人部門のご参加をお願いします。)

お申込み方法 事前登録をお願いします。当日参加は人数により御参加いただけない可能性があります。

下記の必要項目をメールでお知らせください。宛先 karutastone@gmail.com

- ①参加部門(日本人部門 または 日本語学習者部門)
- ②チーム名(ユニークでたのしい名前をつけてください)
- ③参加者全員のフルネーム(日本語表記両方)と学年(学生の場合)
- ④代表者(保護者)の氏名・メールアドレス
- ⑤当日連絡がつく代表者の携帯電話番号

★全チーム3回試合をします。3人1チームの場合は交代で1試合2人が参加します。参加チーム数によっては1試合不戦勝の場合もあります。不戦勝も1勝としてカウントします。3試合の成績で順位を決定します。入賞者には賞状・賞品を進呈します。

★指の爪は事前に切っておいてください。試合中のケガなどの場合の治療費は個人でご負担ください。

★参加者・入賞者の顔写真や氏名・学校名がウェブや報道機関等の諸媒体に掲載されることもありますのでご了承ください。写真や氏名の掲載が不可の方は事前にお申し出ください。

楠木早紀永世ク
イーンのサイン色
紙その他レアな賞
品が当たるラッ
フルズも実施。



同時開催—米国人女性が見た戦後の日本—写真展(入場無料)

米国人女性アネット・ファインストーン氏(左、102歳)が1946～1947年に日本で撮影した貴重な写真約100点を展示します。

March 3 (Sunday) 10:00AM ~6:00PM

@Cafeteria of Bethesda Elementary School



主催：ワシントンDCいにしへ会・GO! Karuta Inc.

後援：一般社団法人全日本かるた協会

お問い合わせ：karutastone@gmail.com (ストーン陸美)

かるた情報：<http://karuta.game.coocan.jp/>

GO! Karutaは小倉百人一首かるたの海外普及と海外選手育成をサポートする非営利団体です。

U.S. Karuta Competition 2019

~Let's Play Karuta~ Beginner's Gempei-sen

Sunday March 3, 2019 10:00 a.m. - 1:00 p.m, **Free of Charge**

- 9:30—9:50 Registration (first 50 people will receive a small souvenir.)
- 10:00—12:00 Genpei-sen
- 12:10—12:40 Pick up priest (game)
- 12:40—1:00 Award ceremony
- 1:30—7:00 Competitive karuta division
(Experienced players only. Spectators welcome)



Venue: Bethesda Elementary School Cafeteria
7600 Arlington Rd, Bethesda, MD 20814

Genpei-sen : two or three people on a team

(Genpei-sen will be played on a table. You don't have to sit on a mat.)

If you can read Hiragana, you can join this fun competition. A reciter reads the poems of Ogura Hyakunin-issu, so don't worry if you are not familiar with the poems. Japanese-language beginners can join too.

Japanese division: Please register as Japanese if team members are from Japanese families or children are students of Washington Japanese Language School (WJLS), 3rd grade and older.

Japanese learners division: Non-Japanese and children in 2nd grade or younger at WJLS can join this section. A child of this age paired with a native Japanese parent should register in the Japanese division.

Registration: please register before the event to secure a spot.

How to apply: Please email the following information to: karutastone@gmail.com

- ① Division (Japanese or Japanese Learners)
- ② Team Name (something unique/imaginative please)
- ③ Full name of all attendees (Japanese and English) and school grade
- ④ Emails of all attendees
- ⑤ Mobile number of the team representative (adult) who can be reached on the day.

★All teams play three games. If a team has 3 people, only 2 people play a game. Please take turns. If we have an odd number of teams, one team wins by default. The top placing teams will receive awards.

★Please trim fingernails. Injuries and accidents are the sole responsibility of the individuals participating.

★Attendees' photos and names may appear in media and SNS.

Concurrently held photo exhibition

JAPAN AFTER THE WAR 1946—1947

—Through the eyes of one American woman

March 3 10:00 a.m.—6:00 p.m.

@Cafeteria of Bethesda Elementary School

The photographs in this exhibition were taken by Annette Chait Finestone, 101 years old, who lives in New Paltz, NY. She took the pictures while in Japan working for the GHQ just after the end of World War II.



Organized by the Washington DC Inishie Karuta Club
and Go! Karuta Inc.

Supported by the All Japan Karuta Association

Sponsors:

Contact: karutastone@gmail.com (Mutsumi Stone)

Karuta Information : <http://karuta.game.cocan.jp/>

A 札 (34 枚)

<p>すみのえのきしによるなみよるさへや さびしさにやどをたちいでながむれば せをはやみいはにせかるたきがはの うかりけるひとをはつせのやまおろし うらみわびほさぬそでだにあるものを しのぶれどいろにいでにけりわがこひはも しらつゆにかぜのふきしくあきののは いにしへのならのみやこのやへざくら いまこむといひしばかりにながつきの いまはただおもひたえなむとばかりを なつのよはまだよひながらあけぬるを ながからむこころもしらずくろかみの ながらへばまたこのごろやしのぼれむ なげきつつひとりぬるよのあくるまは なげけとてつきやはものをおもはする なにしおはばあふさかやまのさねかづら なにはえのあしのかりねのひとよゆゑ なにはがたみじかきあしのふしのまも</p>	<p>ゆめのかよひちひとめよくらむ いづこもおなじあきのゆふぐれ われてもすゑにあはむとぞおもふ はげしかれとはいのらぬものを こひにくちなむなこそをしけれ のやおもふとひとのとふまで つらぬきとめぬたまぞりける けふこのへにほひぬるかな ありあけのつきをまちいでつるかな ひとつづてならでいふよしもがな くものいづこにつきやどらむ みだれてけさはものをこそおもへ うしとみしよぞいまはこひしき いかにひさしきものとかはしる かこちがほなるわがなみだかな ひとにしられてくるよしもがな みをつくしてやこひわたるべき あはでこのよをすぐしてよとや</p>	<p>あわれともいふべきひとはおもほえて あわじしまかよふちどりのなくこゑに あらざらむこのよのほかのおもひでに あらしふくみむろのやまのみちばは あきのたのかりほのいほのとまをあらみ あきかぜにたなびくくのたえまより あまのはらふりさけみればかすがなる あまつかぜくものかよひちふきとちよ ありあけのつれなくみえしわかれより ありまやまるなのさきはらかぜふけば あさじうのをのしのはらしのぶれど あさばらけ ありあけのつきとみるまでに あさばらけ うじのかはざりたえだえに あしびきのやまどりのおのしだりおの あいみてののちのこころにくらぶれば あけぬればくるものとはしりながら</p>	<p>みのいたづらになりぬべきかな いくよねざめぬすまのせきもり いまひとたびのあふこともがな たつたのかはのにしきなりけり わがころもではつゆにぬれつつ もれいづるつきのかげのさやけさ みかさのやまにいでしつきかも をとめのすがたしぼしとどめむ あかつきばかりうきものはなし いでそよひとをわすれやはする あまりてなどかひとのこひしき よしのさとにふれるしらゆき あらわれわたるせぜのあじろぎ ながながしよをひとりかもねむ むかしはものをおもはざりけり なほうらめしきあさばらけかな</p>
--	--	--	--

B 札 (34 枚)

<p>むらさめのつゆもまだひぬまきのはに めぐりあひてみしやそれともわかぬまに つきみればちぢにもものこそかなしけれ つくばねのみねよりおつるみなのがは もしきやふるきのきばのしのぶにも もるともにあはれとおもへやまざくら ちはやぶるかみよもきかずたつたがは ちぎりきなかたみにそでをしぼりつつ ちぎりおきしせもがつゆをいのちにて きりぎりすなくやしもよのさむしろに きみがため はるののいにてわかなくむ きみがため おしからざりしいのちさへ かささぎのわたせるはしにおくしもの かくとだにえやはいぶきのさしもぐさ かぜそよぐならのおがはのゆふぐれは かぜをいたみはうつなみのおのれのみ みちのくのしのぶもぢずりたれゆゑに</p>	<p>きりたちのぼるあきのゆふぐれ くもがくれにしよはのつきかな わがみひとつのあきにはあらねど こひぞつもりてふちとなりぬる なほあまりあるむかしなりけり はなよりほかにしるひともなし からくれなゐにみずくくるとは すゑのまつやまなみこさじとは あはれことしのあきもいぬめり ころもかたしきひとりかもねむ わがころもでにゆきはふりつつ ながくもがなとおもひけるかな しるきをみればよぞふけにける さしもしらじなもゆるおもひを みそぎぞなつのしるしなりける くだけてものおもふころかな みだれそめにしわれならなくに</p>	<p>みせばやなをじまのあまのそでだにも みよしののやまのあきかぜさよふけて みかきもりゑじのたくひのよるはもえ みかのはらわきてながるるいづみかは たかさごのをのへのさくらさきにけり たちわかれないなばのやまのみねにおふる たごのうらにうちいでてみればしろたへの たまのをよたえなばたえねながらへば たきのおとはたえてひさしくなりぬれど たれをかもしるひとにせむたかさごの こぬひとをまつほのうらのゆふなぎに このたびはぬさもりあへずたむけやま こいすちょうわがなはまだきたちにけり これやこのゆくもかへるもわかれては こころあてにおらばやおらむはつしもの こころにもあらでうきよにながらへば いにしへのならのみやこのやへざくら</p>	<p>ぬれにぞぬれしいろはかはらず ふるさとさむくころもうつなり ひるはきえつつものをこそおもへ いつみきとてかこひしかるむ とやまのかすみたはずもあらなむ まつとしきかばいまかへりこむ ふじのたかねにゆきはふりつつ しのぶることのよわりもぞする なこそながれてなほきこえけれ まつもむかしのともならなくに やくやもしほのみもこがれつつ もみぢのにしきかみのまにまに ひとしれずこそおもひせめしか しるもしらぬもあふさかのせき おきまどはせるしらぎくのはな こひしかるべきよはのつきかな けふこのへにほひぬるかな</p>
---	---	---	--

C 札 (34 枚)

<p>ふくからにあきのくさきのしをるれば ほととぎすなきつるかたをながむれば ゆうさればかどたのいなばおとづれて ゆらのとをわたるふなびとかちをたえ ひさかたのひかりのどけきはるのひに ひとはいさこころもしらずふるさとは ひともをしともうらめしあぢきなく はるすぎでなつきにけらししろたへの はるのよのゆめばかりなるたまくらに はなのいろはうつりにけりないたづらに はなさそふあらしのにはゆきならで やえむぐらしげれるやどのさびしきに やすらはでねなましものをさよふけて やまざとはふゆぞさびしさまさりける やまがはにかぜのかけたるしがらみは よをこめてとりのそらねははかるとも よもすがらものおもふころはあけやらで</p>	<p>むべやまかぜをあらしといふらむ ただありあけのつきぞのこれる あしのまるやにあきかぜぞふく ゆくへもしらぬこひのみちかな しづごころなくはなのちるらむ はなぞむかしのかにほひける よをおもふゆゑにものおもふみは ころもほすちょうあまのかぐやま かひなくたたむなこそをしけれ わがみよにふるながめせしまに ふりゆくものはわがみなりけり ひとこそみえねあきはきにけり かたぶくまでのつきをみしかな ひとめもくさもかれぬとおもへば ながれもあへぬもみぢなりけり よにあふさかのせきはゆるさじ ねやのひまさへつれなかりけり</p>	<p>よのなかよみちこそなけれおもひいる よのなかはつねにもがもななぎさこぐ おくやまにもみぢふみわけなくしかの おぐらやまみねのみちばこころあらば おとにきくたかしのはまのあだなみは おもひわびさてもいのちはあるものを おおえやまいくののみちのとほければ おおことたえてしなくばなかなかに おおけなくうきよのたみにおほふかな わびぬればいまはおなじなにはなる わがいはみやこのたつみしかぞすむ わがそではしほひにみえぬおきのいしの わするるみをばおもはずかひてし わすれじのゆくすゑまではかたければ わたのはら やそしまかけてこぎいでぬと わたのはら こぎいでてみればひさかたの いにしへのならのみやこのやへざくら</p>	<p>やまのおくにもしかぞなくなる あまのをぶねのつなでかなしも こゑきくときぞあきはかなしき いまひとたびのみゆきまたなむ かけじやそでのぬれもこそすれ うきにたへぬはなみだなりけり まだふもみずあまのはしだて ひとをみももうらみざらまし わがたつそまにすみぞめのそで みをつくしてもあはむとぞおもふ よをうちやまとひとはいふなり ひとこそしらねかわくまなし ひとのいのちのをしくもあるかな けふをかぎりのいのちともがな ひとにはつげよあまのつりぶね くもぬにまがふおきつしらなみ けふこのへにほひぬるかな</p>
--	--	--	--